

RI第2620地区 静岡第3分区

沼津柿田川ロータリークラブ



RI会長 ゲイリー C.K. ホアン
 RI第2620地区ガバナー 岡本 一八
 会長 濱田 清明
 幹事 前田 守
 例会日時 毎週月曜日 12:30点鐘
 例会場 沼津卸商社センター 2F
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
 TEL 055-971-6500
 事務局 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

会長挨拶



第1562回例会 会長挨拶

会長 濱田清明

皆さんこんにちは。第21回目の紹介者は徳山明宏さんです。

徳山さんは1966年11月1日生まれの48歳でいらっしゃいます。ご職業は損害保険生命保険総合保険業で明治安田生命相互会社沼津支社長でいらっしゃいます。

徳山さんの経歴と致しましては大分県大分市のご出身で、大分県立大分鶴崎高等学校をご卒業されました。高校時代は陸上部に在籍され、駅伝でご活躍されたそうです。卒業後は明治大学文学部へ入学され、地理学を専攻されたそうで将来は地理の教員もしくは国土地理院の職員を目指そうと勉学に励まれたそうです。が、卒業後の進路を考えた時はまさにバブル好景気時代の真っ只中。華やか世界へ進路を変更し、ご本人いわく「金融機関の端くれ」である保険会社を選択し、安田生命保険(現明治安田生命保険)に入社されたそうです。

入社後は横浜・福岡・新宿・銀座支社などの重要拠点にて営業の第一線でご活躍された後、所沢営業支社長、東京FC支社長を経て、この4月より沼津支社長に就任されました。沼津支社は静岡県東部地域を担当しており、役職員数は約420名ほどおられるそうです。現在、日本の社会保険制度の補完事業としてさまざまな商品を販売されており、なかでも特約や保障を組み合わせる事が出来、加入後も毎年保障の見直しができる「ベストスタイル」という商品が50万件を突破するメガヒット商品となっているとお話されました。その他には中小企業のニーズにあった商品もさまざまな販売されていたり、2015年1月1日より相続税の基礎控除が大幅に引き下げられたことに伴い、保険商品を活用した相続対策の相談なども行っておられるそうです。保険は加入後がスタートと考え、お客様を一生フォローし、お客様の安心を守り続ける為に「アフターフォローで保険を変えます」をスローガンとして取り組まれているそうです。

また、明治安田生命は昨年12月に「地域に根ざしたスポーツクラブを核として、豊かなスポーツ文化を醸成する」という考えに共感し、Jリーグとタイトルパートナー契約を締結されたそうで、沼津支社では地元のJFLのクラブチーム「アスルクラロ沼津」のパートナーになり、全員がサポーターとなってJ3の昇格を応援されているそうです。その他にも明治安田生命では様々な社会貢献活動を行っておられるそうです。

さて、徳山さんのロータリー入会時のお話ですが、前任の沼津支社長であり、当沼津柿田川ロータリークラブの会員であられた前澤秀明さんの後任として2015年4月6日に入会されました。まだ入会して間もないですが、例会には出来る限り出席し、はげみ会ゴルフや会の活動にも積極的に参加していきたいと仰っておられました。まだまだ慣れない土地に赴任されて時が経って、おらず何かとご苦労がおりになるとは思いますが、会への意欲的なお言葉を頂けて嬉しく思っております。

今後の活動に期待し会長挨拶と致します。

幹事報告

■ 事務連絡 ■

* 静岡第3分区ガバナー補佐事務所より

静岡第3分区IM報告書 到着

年次報告及び計画書 到着

* 富士山吉原ロータリークラブより

創立60周年記念式典出席へのお礼状 到着

* ガバナーエレクト事務所より

地区研修・協議会分科会報告書 到着

* 甲府北ロータリークラブより

ポール・ハリス著『抜粋 ロータリーへの私の道』復刻増刷

予約についてのお知らせとお願い 到着

■ 例会変更 ■

* 長泉RC

7月8日(水)→早朝例会

7月15日(水)→夜間例会

7月29日(水)→夜間例会

■ 週報到着 ■

長泉RC

会長幹事退任挨拶



2014-2015年度 会長 濱田清明

今日の卓話は会長・幹事の退任挨拶となっておりますが、その前に本年度最後の第22回目の紹介者として、本年度会長であります私、濱田清明の紹介をさせていただきます。

私は1948年7月20日生まれの66歳です。職業は建設業で株式会社濱田建設の代表取締役をしております。

経歴と致しましては熊本県天草市に生を享け、小さい頃より家におらず幼馴染の悪ガキ達と1日中外で遊び回る子供でした。中学時代は野球とテニスに明け暮れる日々でした。昭和42年3月に熊本県立天草工業高等学校を卒業し、東京にある建設会社に就職致しました。1年後の昭和43年4月に縁あり静岡県三島市にある躯体専門業者の榊田工務店に就職する事となりました。仕事の内容と致しましては大手建設会社(主に榊田中工務店)の下請け業として鷹工、土工、大工等の職人を手配しながらコンクリートの建物を作り上げる仕事となります。

昭和40年代は高度成長期時代で、この辺りでは東レ・東芝機械・トヨタ自動車等の設備投資が多く、次々に建物が建設される良い時代でした。途中、オイルショックが起き大変な時代がありましたが、昭和63年から皆様もご存じのバブル好景気時代がやってきて建設業界も絶頂期に沸き、このような時代がずっと続くような錯覚に陥ったものでした。残念ながらやはりそのような時代は続かず、平成3年頃からバブルは崩壊し始め、景気も悪くなる一方でした。そんな中、平成6年12月に独立し、株式会社濱田建設を立ち上げ、在籍していた会社と同じ躯体専門業者としてスタート致しました。当初はバブルが崩壊したといっても請負う単価もそれほど悪くなく、少しの間我慢すれば元に戻るだろうと思いながら会社を経営しておりました。が、平成10年を過ぎた辺りから景気の悪化と共に建設業界にも不況の波がどんどん押し寄せてまいりました。そこからこれまでの間、社員や職人の親方達と何度も話し合いを行いながら存続させて来たものの、何度となく倒産の危機に直面した事もありました。そんな折いつも社員、職人、金融機関、その他多くの人達の協力を得る事が出来、乗り切ることが出来た事に対し有難い気持ちでいっぱいです。まだまだ大変ではありますが社員や職人が100人以上働いておりますので、これから景気が良くなる事を信じて頑張っていきたいと思っております。

さて、私のロータリークラブ入会時の話ですが、2005年6月1日に入会致しました。スポンサーは伊東喜久男さんです。当時はロータリーの事は何一つわからず、お断りしておりましたが1年で辞めていいよと言われた事と、ご一緒されていた原さんに説得されて入会したと記憶しております。入会時は会員が26名おり、会場もエルムリージェンシーで行う程でした。2006年には25周年の行事があり、中々辞めるタイミングを逸しておりました。2010年にメンバーが一気に辞められた頃には、自分は留まり何とか頑張らなければいけないという気持ちに変化しておりました。それまでは出席率も50%程だったと思いますが、2013年頃から出席率も良くなってきました。現在は若い人も多く会員数も21名まで増え、何とか復活の兆しを見せており嬉しく思います。様々な行事も楽しくやれて、今後の会の発展が楽しみです。今後とも宜しくお願致します。私の紹介を終わらせて頂きます。

ここからは会長退任挨拶を行いたいと思っております。昨年の会長であられた菊地さんが最後の挨拶の中で「なが～いなが～い1年が終止符を打とうとしております。」と述べられておりましたが、私も同じ気持ちで今日の挨拶を行うのだろうと当初は考えておりました。しかしながら意外にも、もう少し会長としての時間があればいいなと惜しむ気持ちの中この挨拶文を考えておりました。

私は1年前、ロータリーの会長職など務まるかなと不安でいっぱいの中お引き受け致しました。前田幹事の「何があっても力になるから」という心強いお言葉が無ければ引き受ける事が出来なかったと思います。今でも前田幹事のサポートには深い感謝の気持ちでいっぱいです。

お引き受けした私が1年前に掲げた方針と致しまして、四項目を柱に進めさせて頂きますとお話致しました。

- I 会員の退会防止の継続
- II ロータリーメンバーの根幹である親睦に力を入れていく事
- III 継続的に行っている「柿田川を守ろう」のCDの配布
- IV クラブメンバーの詳細な職業紹介の実施

以上の柱の実現に向け、会員の皆様方の協力やご指導をお願いして参りました。

まず、I 会員の退会防止の継続につきましては、委員長の野口会員、小川会員、原会員の下、4名の会員増を達成する事が出来ました。残念ながらこの6月に1名の退会者が出てしまったものの、増員3名で終わる事が出来ました。

次にIIのロータリーメンバーの根幹である親睦に力を入れていく事では、クラブ管理運営の梅田委員長他でテーブル会を作成し、会員の親睦を深める事が出来ました。

3番目のIII継続的に行っている「柿田川を守ろう」のCDの配布につきましては、クラブ広報と前田会員、野口会員他で今年も例年通り清水町の小学6年生、中学3年生に配布する事が出来ました。贈呈は静岡新聞社の下清水町町長へ行いました。

最後にIVクラブメンバーの詳細な職業紹介の実施ですが、一年間を通して22名の会員皆様の会社を訪問させて頂き、貴重なお時間を頂きながら取材をさせて頂き、会長挨拶の中で紹介させて頂きました。初めての試みであったので皆様がどのように捉えられたかはわかりませんが多少の不安は残しつつも、お互いの事が多少なりともわかり、メンバー間の壁が取り除かれたのではないかと考えております。

その他の活動としてクラブ研修では新しい会員の為にロータリーの研修を行って頂きました。

ロータリー財団関連では寄付等、岩本委員長にお力を頂きました。

社会奉仕プロジェクトでは大石委員長他で柿田川公園の清掃整備や本城山公園の清掃整備等でお世話になりました。

米山梅吉記念館運営では大石委員長に秋季例祭、春季例祭へ出席して頂きました。

以上のように沼津柿田川ロータリークラブの年間プログラムが6月27日の家族例会を残し、無事に終わる事が出来ましたのはひとえに各委員長そして会員の皆様のご協力の賜物だと感謝致しております。

最後にありますが私の右腕以上に支えて下さった前田幹事と伊藤会計には心より御礼を申し上げて、会長退任挨拶とさせて頂きます。

皆様、一年間本当にありがとうございました。



2014-2015年度 幹事 前田守

RIテーマ「ロータリーに輝きを」

今年度、濱田会長と共に二人三脚で進めてきた一年間が過ぎようとしております。今の心境としましては、クラブの皆さんの協力を頂いた一年でした。本当に感謝申し上げます。

クラブ幹事の仕事は、活動計画に対し問題解決の指針を立てなければなりません。濱田会長の「親睦」に力を入れて行くことを目標に掲げられ、席替え・テーブル会を復活させ、コミュニケーションの強化を図りたいと考えました。クラブ管理運営委員会、各テーブルマスターになられた方々、会長はじめ会計の伊藤会員にも絶大なご協力頂き、100%とはいきませんでしたでしたが実施することができました。その成果は、クラブ会員の皆様と公私共に「真の仲間」として絆を深め、今後の沼津柿田川ロータリークラブの発展に邁進したいと思います。

また、沼津柿田川ロータリークラブの存在を外部へアピールする為、近隣団体の協力を仰ぎ、外部へ発信していきたいと思っております。

幹事の立場からクラブ運営面を振り返ってみますと、クラブ定款・細則・内規の改定版配布 2014年7月1日

地区補助金額 ¥91,700-

年度当初の会員数18名に対し、荒川康博会員、安本晋会員、山本勲会員、小早川すみえ会員の4名の方々を新入会員として迎えることが出来ました。会費半期分の増収となりました。

退会者は、石井優会員の退会により21名となりました。(石井優会員には、ぜひ復帰していただく事を今後お願いしていると思っています)

外部に対するアピールとして、アスルクラロ沼津様との協賛事業で「グランドゴルフ大会」の開催を実施しました。梅田年度では、「シニア&ジュニアグランドゴルフ大会」「シニアオープングランドゴルフ大会」をサポートしていくこととなります。

改めて幹事の役割はと考えると、会長のサポート、RIやガバナー事務所とのやり取り、各委員会のフォロー、効果的なロータリークラブとなる為の活動計画の指標と長期的目標(3ヶ年)問題解決指針の作成、と多くの仕事があります。その仕事をどこまで

こなせたかはわかりませんが、会長のサポートを始め各委員会のフォローも決まらず運営できとは思っておりません。来年は理事としてクラブ運営を支えていくことになりました。今年度の反省を踏まえ、小川次期幹事をフォローし、次年度にバトンタッチしたいと思います。

改めて、会員の皆様の全面的なご協力に誠にありがとうございました。

委員会報告

クラブ管理運営委員会

委員長 梅田欣一

最終家族例会の件ですが、事前に話してあります委員の方々は、10時にエスポート集合で宜しくお願い致します。

本日のゲスト・ビジター

ビジター 沼津北RC 石川征雄様
 ビジター 沼津北RC 名取賢吉様
 ゲストはありませんでした。

スマイル報告

原 修一 例会欠席ばかりですみません。
 原 修一 増田さん何回も週報ありがとう。
 原 修一 5月の妻の誕生日祝いありがとう。
 濱田清明 最後の会場例会ありがとう。

◆次回例会プログラム◆ 最終家族例会

出席報告

| 会員数 | 出席計算に用いた会員数 | 出席計算に用いた出席者 | 出席率 | 6月1日修正出席率 |
|-----|-------------|-------------|--------|-----------|
| 22名 | 21名 | 15名 | 71.42% | 80.95% |

出席：古泉・太田・菊地・前田・梅田・濱田 他 計15名

欠席：野口・高田・中田・岩本・石井・富樫 計6名

MU：中田 計1名